

審査要領（抜粋）

3. 審査の観点

（1）中核機関（群）としての適格性

- ・機関（群）としての実績や事務能力、トップの関与など機関としてのコミットや、先進的な機関や関連研究者の参画等を総合的に勘案し、我が国大学等を牽引する中核機関（群）としての的確であるかどうか。
- ・中核機関群を形成する場合には、役割分担が明確であり、共同体制が緊密あるかどうか。

（2）全国ネットワーク構想の妥当性、効率性

- ・我が国の女性研究者の活躍促進を通じた研究環境のダイバーシティ実現に向けて、我が国の取組を一体化するとともに、大学・企業や海外機関等との窓口となるなど、我が国を代表する全国ネットワーク構想であるかどうか。
- ・将来的な自立化を念頭に、既存の取組の取り込みや企業との連携など、効率的なスキームが構想されているかどうか。
- ・先進的な他機関との連携や、本補助金のみならず企業や海外ファンディング機関等の外部資金の活用など、支援する補助金に限らない総合的な計画であるか。
- ・全国ネットワークを運営できる意欲、能力を持ったマネージャー、コーディネーターが配置（予定）であるかどうか。（これまでの実績等）
- ・明確なKPI設定がなされているかどうか。

（3）取組内容の妥当性、期待される成果

- ・取組内容が、中核機関（群）以外の機関を含めた我が国全体の女性研究者の活躍に向けて、真に必要かつ意欲的な取組であるかどうか。
- ・提案するネットワークの活動内容が、国の各種政策や事業と適合しているかどうか。

（4）補助期間及び補助事業期間の終了後における継続性

- ・補助期間（3年間）及び補助事業期間（6年間）の終了後において、取組の継続性を確保し得る体制や明確な計画が設定されているか。特に、自立的な運営のための資金確保スキーム構築のための検討が的確に行われる計画となっているかどうか。